

平成 25 年 11 月 11 日発行
第 181 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel : (0548)32-0701 緊急用 : 090-1758-1712 Fax : (0548)32-1280

「己・家族・地域の命は自らまもる」～「人の義 医師の義」～《その 》

—「勇気・自信を 自負する人間。形成を 成し、“師”“友”を 大切に、“事”を 実す力を 育み・起こし・成す—

私は愕いている。組織のトップ この為政者が偽善者であり、過去を顧みず 無言・隠蔽 誤魔化し、まやかしの継続、成す事・鑑みる事を 処すまま具体的に申しても 聴こえぬのか 意識して無視しているのか 術無く無動なのか？、未来・将来を語る事 そして“動”の姿勢が無く、話し合い・交渉事無く、組織は衰退・疲弊し 破局に向かっている事、手遅れとは想われます。榛南地区の為政者が “動”の姿勢無く 案ずるは終了、この可能な限りの 回避・打破の為に「成す事を成す“道”を歩む」、「事」を書籍【仮名：Yellow Card [出版社発行予定は 平成25年12月27日(金)]】で 紹介の 準備をはじめました。

私は愕いている。これだけ本院院内報 本紙“康寿診報”等で 自分の身は自分でまも[=護・守]る事 「己・家族・地域の命は 自らまもる」と 申しているのに、(「ヨウ化カリウム丸50mg」の備蓄を！)と具体的に 書し・申し話しているのに、「ヨウ化カリウムって何ですか？」と 診療の現場 薬局での処方現場で、本院 加藤内科医院に定期的に受診する患者さんにまで 問われる状況。必要・必至の情報は 可能な限り 本院職員は無論(株)はいやく 吉田薬局とも 共有し発信している。「耳を傾けて聞いて下さい」と申したい、下記 榛原医師会・榛南地区行政には 何度も 注視願った“事”である。

【日医総研ワーキングペーパー No.290 (2013年7月)・静岡県医師会広報 第1505号 平成25年9月 P14より 抜粋】

原子力発電所災害による全国的な緊急被ばく医療対策に対する研究

国は50mSv拡散シミュレーションの実施・開示と 原子力災害対策指針の安定ヨウ素剤の配布・備蓄等の再検討を—

・ 5) 原子力災害対策指針の中に、医療側に対する最新の災害情報提供と医療側のアドバイスによる自治体の配布・服用指示規定の明記を

東京電力福島第一原子力発電所事故の際、一部自治体は安定ヨウ素剤を備蓄していたにもかかわらず、そして医療側が提案したにもかかわらず、住民に対する配布・服用指示の決定をせず、せっかく備蓄していた安定ヨウ素剤を活用しなかった。

安定ヨウ素剤の効果は放射性ヨウ素にさらされる 24 時間前が最も効果があり、過酷な原子力発電所事故が発生する場合、一刻も早く安定ヨウ素剤を服用すべきであり、服用させるべきである。

その際、住民や自治体に被ばくに関するアドバイスが出来る専門家は医師である、そして、住民から最も信頼されるのも医師であることが、今回の原子力発電所事故の際に多く見られた。

以上のことから、「原子力災害対策指針」の中に、適切なアドバイスのための医療側に対する最新の災害情報提供の規定を明記するとともに、医療側のアドバイスにより自治体は住民に対し安定ヨウ素剤の配布・服用指示を行うことについても、明記すべきである。

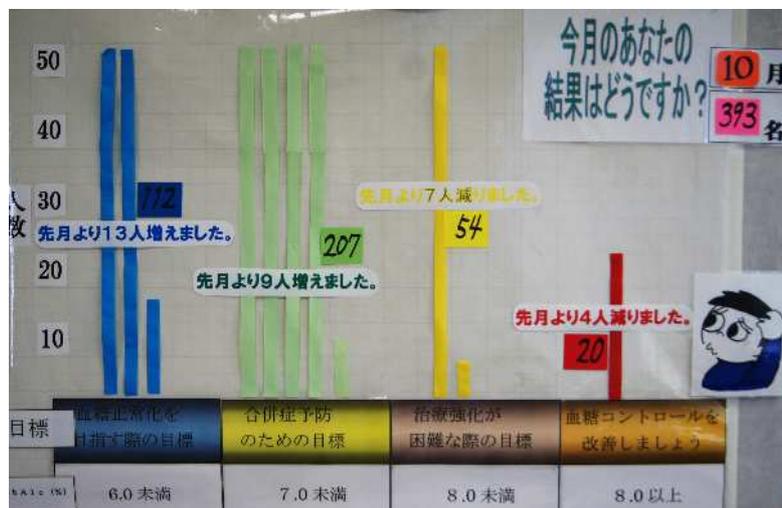
私は愕いている。この方は モンスターだと思う。自暴自棄な生活の 本院通院中の糖尿病患者さん HbA1c 8.6%、一カ月処方の筈だが 来院し処方箋を渡すのは1月半から2カ月ごと、こんな方がインフルエンザ感染の一番のリスク者なのに、怒鳴るようにワクチン接種を拒否、ワクチン打たないならどうするの？の 医師の問いに「手洗い・うがいを励行します」ぐらいの返答は出来ないものか？ちなみに 私 加藤寿夫は 一昨年・昨年と 毎年2回 インフルエンザワクチン接種を受け 手洗い・うがいを励行しているが、二年続けて A型インフルエンザに感染している。余程の虚弱体質なのか？

私は愕いている。榛原医師会 会長 高木平氏 本人は無論 執行部からも 音沙汰無し。

平成25年11月11日(月) 榛原医師会 執行部・事務局宛 書面[No.49(榛原医師会執行部)・No.103(事務局)]より抜粋

会長 高木平氏に対しては榛原医師会執行部にもお願いしておりますが 過去何百度も 期限を区切り 申して来ましたが 返答ありません、私事ではありますが 直接のFax、四度、期限・人数の制約もありますので「我々加藤内科医院の忘年会の出欠について 意思表示の必要性」これは 執行部からも 問うて下さい、県レベルの執行部の先生方 地方医師会 自治のトップの方々からも 出欠の返答は いたしております。

今月のあなたの結果はどうか？ < 患者さんと共に目指す新設基準による目標について >



HbA1c10.0%
以上の場合
・インスリン注射
・GLP - 1 製剤
の使用を考慮する。

「熊本宣言2013」により新たな血糖コントロールの目標値が運用開始になり、当院のグラフ(上記)も新しい目標値に合わせて作り変えました。当院は約81%の患者さんがHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)7.0%未満でより良い血糖管理を維持することで合併症予防に取り組んでいます。

適切な食事療法や運動療法を基本に、低血糖を起こさないことを基本とした薬物療法でHbA1c6.0%未満を目標としています。合併症予防の目標としてはHbA1c7.0%未満とし、対応する血糖値としては空腹時血糖値130mg/dl未満、食後2時間血糖値180mg/dl未満を目安としています。HbA1c7.0%以上になってしまう患者さんにはHbA1c7.0%未満を目指すため、薬物の副作用、年齢、他個人の生活を考慮した上での治療を看護師、栄養士を含む職員一同でバックアップしています。

今までは「優・良・可・不可」の分類が複雑、「患者さん中心の医療を目指す糖尿病診療の理念に“不可”などの否定的呼称はそぐわない」「“優”という呼称には低血糖などを考慮せずにヘモグロビンA1cをひたすら下げるべきである」といふ意味にとられかねない危険もある」という意見がありました。

新しい血糖コントロールの目標値を定めるに当たって、医療スタッフが糖尿病患者さんの血糖コントロールを一方的に採点するのではなく、「患者さんと医療スタッフが共に目指す糖尿病治療の目標とすること」「ヘモグロビンA1cの国際標準化を契機に国際的な基準との整合性を図ること」「糖尿病診療を専門としない医師の皆さまにも理解されやすく活用しやすいようにできる限り簡素化すること」などが考慮されました。(さかえ8月号)

今後は、3段階にシンプルになった指標で患者さん自らの行動変容に繋げることを目的とし患者さん主体の診療を成し、「優・良・可・不可」という、上から目線の評価は学会、協会がとりやめ目標設定を求めやすい指標となります。今後80歳代以上の高齢の患者さんに及ぶまで「HbA1c 6.0%未満を、低血糖の心配無く維持する患者さん」が増えるようサポートしていくのが、当院の役割だと考えております。



< 患者さんへ > 当院でも、医師を始め職員全員で患者さん中心の治療のお手伝いに日々邁進しています。「病院で注意される」「悪くなっているから気が重い」とか考えずに「自分が中心となり、治療に取り組む」ように前向きに取り組んでいきましょう。スタッフは全員一丸となり、患者さんにとって最善な方法は何かを考え行動しています。「上から目線」を感じた時は遠慮なく注意して下さいね。

職員一同

< 第 87 回 睦会の報告 >

平成 25 年 11 月 2 日 土曜日 13 時より加藤内科医院 2 階会議室で第 87 回睦会が開催されました。当日は参加者 41 名(患者さん 11 名、関係者 23 名、従業員 7 名)で加藤先生の講義を 2 時間に渡り聴講しました。演題は 糖尿病ってどんな病気? あなたの薬は何をしているの? 等の内容で質疑応答もあり有意義な内容でした。その他にも血糖測定、甘味料を使ったおやつを紹介を行い楽しく過ごしました。



「開会の言葉」睦会 会長 杉山富三男様

睦会は第 87 回を迎え年数で 44 年になりました。昭和 44 年に患者を集めて睦会を作り、私は第 1 回から参加しております。早いもので今年で 85 歳になりました。先生方のおかげで元気に過ごしています。今後ともよろしく願います。



「血糖測定クイズ」
自分の現在の血糖値を予想してもらい結果が近い上位 3 名に景品を進呈しました。



「閉会の言葉」睦会 代表 静岡県糖尿病協会理事 鈴木文夫様

私は糖尿病と診断されてもうじき 10 年になります。糖尿病治療は気長に地道に明るく楽しくがポイントです。私は静岡県糖尿病協会理事のボランティアとして活動をしています。現在、糖尿病の治療は身体運動を基本に早期治療、合併症予防に取り組んでいます。最近では歯周病予防について県歯科医師会と連携をとり進めているところです。本日は大勢のみなさんに集まっていただきありがとうございました。

《「ヨウ化カリウム丸 50mg」の備蓄を！》

不測の事態に備えるにあたって

本院では 1シート10錠 100円にて 配布しております。

緊急時すぐに内服できる場所(仏壇・神棚の引き出し等)へ保管しておくことをおすすめします。
ヨウ化カリの備蓄は 行政等に頼る事無く 自ら確保・備蓄し、対処の仕方まで、知っておく事が 必要です。

「ヨウ化カリウム丸50mg」は 劇薬ではありません
また 医師の処方が必要な 要処方箋薬でもありません。

「ヨウ化カリウム丸50mg」は 直径5mmの球形 赤茶の塊で ピンク色のビニールの袋で 10錠ずつ包装されてます。

放射性ヨード「¹³¹I」に 汚染された際は 40歳以下 特に20歳以下であれば 絶対的に以下の量、体重20kg以上は2錠 体重10kg以上は1錠 体重10kg未満は0.5錠の「ヨウ化カリウム丸50mg」を 内服し、早急に汚染圏外に避難する事です。ヨードを含む造影剤による生命に関わるような副作用は 起こりません、原則一回の服用とされますが、汚染された土壌から 避難出来ない場合は 圏外に出れるまで 一日一回 上記容量の内服をおすすめします。
40歳以上の方は ヨウ素剤の内服は必要ありません。ただし 妊婦については 上記の量の内服をして下さい、
ただし専門家の意見では、半年前頃から 40歳以上の方にも 全員に内服させようとの動きが出てきています。

《看護師(若干名)募集のお知らせ》

時間 / 8:00 ~ 18:00(交代制・昼休み時間あり)・パート可

資格 / 経験者・各種資格所有者 優遇

これから資格取得を目指す方 サポート

応募 / 履歴書(写真添付)を連絡先を明記して 本院へ郵送

《インフルエンザ ワクチン 予防接種のお知らせ》

本院の 接種料金は 一回目 ¥3000 二回目 ¥2000 です。

小学生まで(12歳以下)の子供さんは 原則2回接種です。

65歳以上の方は、町・市の補助があり、各町・市の手続きの上、接種していただくと助成の対象となります。

《臨時休診のお知らせ》

お薬を切らさないように気を付け下さい。

11/29(金)・30(土), 12/2(月)・3(火)・24(火)・30(月)・31(火)

2014年 1/2(木)・3(金)・4(土)・14(火) 2/10(月)は 休診です。

「大人が「軍配」を下す」とは 如何なる事か の出来事、組織トップが こうあるべきを “師”から学ぶ、感謝、
「穴の穴が小さい」との 言葉は、日本語特有の言い回しか？ この隠語 外国人に何と説明できるのか？
穴の穴の無い 排泄の仕方を知らぬ“奴”に 云われぬ事、今後は無き様に願いたい、
こんなモンスターを呼び込む必要は 無いと考える、

(2013.9.3. 寿[=寿実寿美]Diary より)